

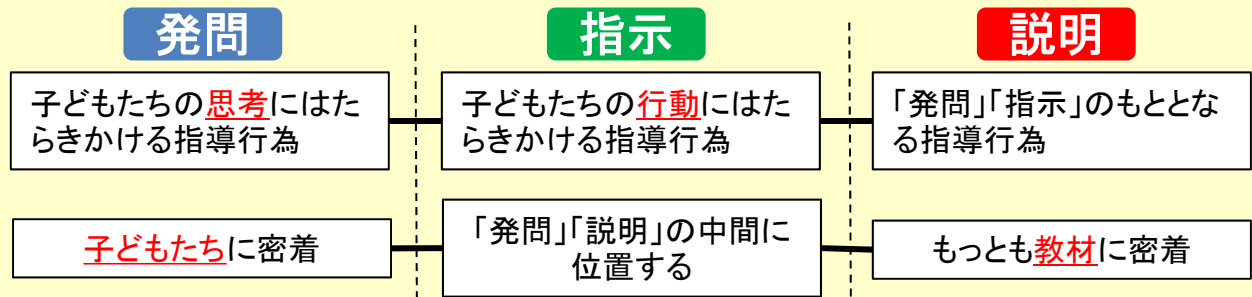
# あなたの発話(発問・指示・説明)をチェックしてみよう!

笠岡市教育委員会 学校教育課

発話は、教師にとって最も重要な指導技術の一つです。質の高い発話を行えば、子どもたちにとってわかりやすい授業、時間内(小学校45分, 中学校50分)にねらいを達成する授業が実施しやすくなります。反対に質の低い発話を日々の授業で繰り返していると、学習内容がわかりにくくだけでなく、授業のリズム・テンポが悪くなり、結果として時間内に授業が終えられなかったり、授業での学習規律が保ちにくくなったりします。ある程度関係性のよい教師と子どもたちであれば、的確さに欠ける発話でも「言い直し」をする等によって授業は前へ進みますが、だからといって発話を磨く努力を怠れば、授業の質そのものも高まりません。

発話の質を高めることは、授業改善を考える際のもっとも重要な視点です。

## ●3つの関係—これを意識するだけでも発話の質が上がります!



あなたは、はたらきかける対象・密着する対象を意識して発話をしていますか。

## ●発話チェックリスト

### 共通

- 1 できるだけ短くはっきりとした言葉で話している。

### 発問

※シンプル発問=誰でも答えられる発問  
※キー発問=学習活動のポイントとなる発問

- 2 特に授業の導入場面では「シンプル発問」を意識して行っている。
- 3 教材のあいまいなところを見つけて「キー発問」を考えている。
- 4 選択させる言葉で問う「キー発問」を行っている。

例「...どこを...」「...誰が...」「...どこに何を...」「...Aがいいか, Bがいいか...」「...似ているところはどこか...」「...の良い点は何か...」等

### 指示

- 5 「数」「人」「物」「比喻」等、目安やイメージがわく言葉を入れて指示している。
- 6 あえて「小さな声の指示」をして集中を促している。
- 7 日頃から「指示の約束事」を作っている。
- 8 指示した後の活動をほめ言葉で評価している。

### 説明

- 9 重要なところをはっきりとさし示している。
- 10 学ぶ順序, 方法をさし示している。

